

## 子どもが作る「ふくおか弁当の日」取組事例

市町村名	八女市
学校名	八女市立上妻小学校

### 【取組内容】

- 実施学年** 第5学年、第6学年
- ねらい**
- ・家庭科で学習したことを生かし、自分の力で、栄養・量・色どりなどのバランスを考えた弁当を作ることができるようにする。
  - ・自分で弁当を作ることによって、「食」（食材を調理する楽しみ・調理する人や自然の恵みへの感謝）への関心を高める。
  - ・弁当作りを通して、家族で「食」を考える機会とする。

### 実施計画

実施時期	第1回 5年 11月	第2回 5年 2月	第3回 6年 6月	第4回 6年 11月	第5回 6年 3月
テーマ	はじめてのお弁当 ～「ゆでたもの」を使って～	～加工食品を使って～ 食材の幅を広げる	～「炒めたもの」 「焼いたもの」を使って～	～バランスを考えながら 「煮たもの」を使って～	小学校の思い出弁当 ～主食を広げる～
家庭科	5年 4月 5月 『みつめよう家庭生活』 ゆでる調理をしよう	5年 10月 11月 『おいしいね毎日の食事』 ごはんのみそ汁を作ろう	6年 4月 5月 『見直そう食事と 生活のリズム』 朝食のとり方を見直そう いためる料理	6年 10月 11月 『まかせてね今日の食事』 家族が喜ぶ食事をつくらう 一食分の食事	6年 12月 『まかせてね今日の食事』 食事をもっと楽しくしよう 主食を広げる

**事前指導** 卒業するまでに自分で弁当を作る力を身につけることができるように、家庭科の学習内容と関連させたテーマを設定した。家庭科の学習時間には、担任と栄養教諭指が家庭科で習得した調理法を用いることや、使用できる食材についての確認を行い、

児童は弁当の栄養・量・色どりなどのバランスを考えながら献立を立てた。

また、子どもたちが弁当作りに意欲的に取り組むことができるように、テーマにあった調理法を使って弁当のおかずとなる料理を学校給食で実施し、具体例として給食を活用した指導を行い、弁当の日の実践につなげた。



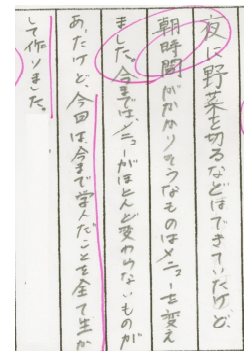
<担任と栄養教諭による事前指導>

**取組の実際** 子どもたちは、当日、家庭にて弁当を作って学校に登校した。次回の弁当の日や家庭実践へ生かすことができるように、給食時間にお互いのよさを見つけながら会食した。さらに、作った弁当の写真や感想や保護者からのコメントを実践カードに記録した。

第5回目の感想を見ると、「今まで学んだことをすべて生かして作りました」「何もしていない時にはできることをして時間を短縮しました」という記述がみられ、習得した調理技術を活かし、手順を考えながら調理している児童の姿が伺えた。



<第5回弁当の日>  
児童の弁当と感想



**事後指導** 5・6年の各担任は、学級だよりで弁当や感想の紹介をし、家庭への理解、啓発を行った。また、栄養教諭は、全校に弁当の日の取組を知らせるために、職員室前の掲示板に食育コーナーを設けたり、食育だよりを発行したりした。

### 【取組の成果と課題】

家庭科の学習内容に応じ、各回にテーマを設けたことによって、子どもたちは栄養・量・色どりなどのバランスを考えて弁当を作ることができるようになった。

自分で弁当を作ることによって、「食」への関心が高まった。また、弁当作りの苦勞を感じることで、食事を作る人に対して感謝の気持ちが高まった。

子どもが家で弁当を作ることによって、家庭における「食」への関心が高まった。

子どもたちが意欲的に「弁当の日」に取り組むことができるように、引き続き各種通信等の発行、掲示物等での他学年や保護者への啓発、授業参観での学習公開等を通じたりして学校・家庭の連携の工夫を図る。